

シンポジウム発表要約

第9期生 吉田光志

「なぜ生きるのか？」を考え始めた時、私は「生きがい」という言葉を連想しました。「やりがいのある仕事」という言葉がありますが、人生においても自分なりの生きがいを自覚していた方が、活気にあふれ充実したものになるのであろう、と感じております。私自身、明確な生きがいを自覚しているわけではありません。しかし、夢や志なら持っています。今はそれに向かって生きている最中です。

ところで、現在の私の夢・志は、以前のそれと異なるものになっています。以前の私は、幼少期の宇宙人への好奇心が原動力となり、自分が宇宙飛行士として宇宙開発に携わることが人生の最大目標として掲げていました。しかし、身体的理由からその夢は叶わないと判明し、「今までの人生は何だったのだろう」と絶望しました。

何とか立ち直った今、全く異なる新たな志を有しています。子供の頃からお笑い芸人やバラエティ番組のお陰で暗い時でも前向きになれましたし、パワーをくれる彼らに憧れと尊敬の念を抱いていました。そして今は、自分が表舞台に立たなくとも裏方として支えること、笑いを届けることは出来ると考え、その道に生きることが私の志になっています。

以前の私は、「将来、宇宙飛行士になるため」に生きていました。そして現在は「近い将来、笑いを届けるため」に生きています。

「今の自分が思い描く通りの人生になることはまず無い」とよく聞きます。そのことは身をもって知っています。人によって抱く生きがいは様々でしょう。それが今は具体的に見えていなくても、夢や志に向かって一生懸命に生きていれば、いつか確信を持って自分の生きる意味を感じられるのではないかと思います。